




Dell™ M115HD
モバイルプロジェクター
取扱説明書



メモ、注意、警告

-  **メモ**：「メモ」は、プロジェクトの使用に際して役立つ重要な情報です。
-  **注意**：「注意」は、指示に従わない場合ハードウェアの損傷やデータ損失の可能性を示しています。
-  **警告**：「警告」は、物的損害、負傷、もしくは死の可能性を意味します。

本書の内容は予告なく変更されることがあります。
© 2013 Dell Inc. All rights reserved.

Dell Inc. 社の書面による許諾を受けることなく、どのような形態であっても、本書を複製することは固く禁じられています。

本書で使用されている商標：Dell および DELL ロゴは、Dell Inc. の商標です。DLP、DLP ロゴおよび DLP BrilliantColor は、Texas Instruments Incorporated の商標です。Microsoft および Windows は、米国および / またはその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

Wi-Fi® は、Wireless Ethernet Compatibility Alliance, Inc. の登録商標です。

本書で使用されているその他の商標および製品名はそれぞれの所有者に帰属しています。Dell Inc. は他社の所有する商標や製品名の所有権をすべて放棄します。

モデル：Dell M115HD モバイルプロジェクター

2013 年 8 月 Rev. A00

目次

1	プロジェクタについて	4
	プロジェクタについて	5
2	プロジェクタの接続	7
	コンピュータへの接続	8
	DVD プレーヤーの接続	12
	マルチメディアへの接続	13
3	プロジェクタの使用法	15
	プロジェクタの電源を入れる	15
	プロジェクタの電源を切る	15
	投影画像の調整	16
	プロジェクタのフォーカス調整	17
	投影画像サイズの調整	18
	コントロールパネルの使用法	20
	リモコンの使用法	22
	リモコンのバッテリーの取り付け (オプション).....	25
	オプションのリモコンの動作範囲	26
	オンスクリーンディスプレイの使用法	27
	マルチメディア入門	40
4	プロジェクタのトラブルシューティング	52
	ガイド信号	55
5	仕様	56
6	Dell へのお問い合わせ	60
7	付録：用語集	61

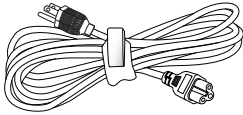
1

プロジェクタについて

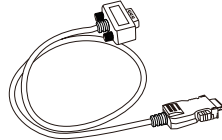
このプロジェクタには次のものが付属しています。すべての付属品が揃っていることをご確認ください。万一、不足の品がありましたら、Dell™ までご連絡ください。

同梱されているもの

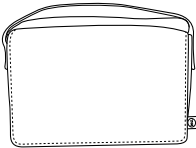
電源ケーブル



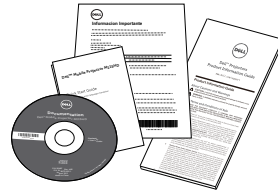
ユニバーサル 24 ピン VGA ケーブル



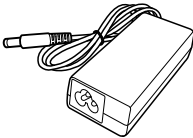
キャリーケース



CD ユーザーガイドおよびドキュメント

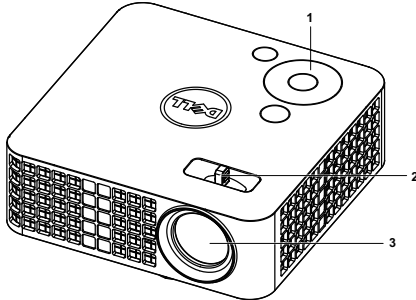


AC アダプタ

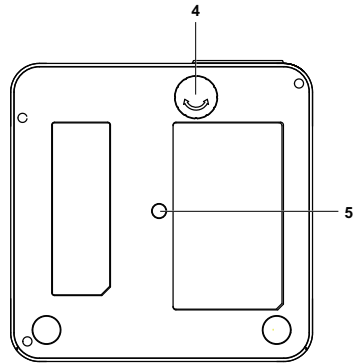


プロジェクタについて

上方図



底面図



- | | |
|---|---------------------------------|
| 1 | コントロールパネル |
| 2 | フォーカスタブ |
| 3 | レンズ |
| 4 | 傾斜調整ホイール |
| 5 | 取付ホール（三脚用）：インサートナット 1/4"*20 UNC |

△ 注意：安全上のご注意

- 1 プロジェクタ機器は熱を発するものの近くでは使用しないでください。
- 2 プロジェクタはほこりの多い場所では使用しないでください。ほこりが原因でシステムが故障し、プロジェクタが自動的にシャットダウンすることがあります。
- 3 プロジェクタはよく換気された場所に設置してください。
- 4 プロジェクタにある通気口や開口部を塞がないでください。
- 5 プロジェクタは 5°C ~ 35°C の周囲温度で操作します。
- 6 プロジェクタの電源をオンにした後、またはオフにした直後は、換気口がきわめて高温になっているため、触れないようにしてください。
- 7 プロジェクタがオンになっている間レンズをのぞき込まないでください。目を損傷する原因となります。
- 8 プロジェクタがオンになっている間、プロジェクタの前に物体を置かないでください。熱で物体が溶けたり燃える原因となります。
- 9 レンズを拭くときはアルコールを使用しないでください。

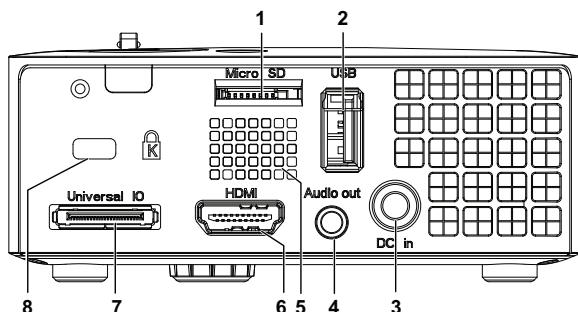
- 10 心臓ペースメーカーの傍で、ワイヤレスプロジェクタを使用しないでください。
- 11 医療機器の傍で、ワイヤレスプロジェクタを使用しないでください。
- 12 電子レンジの傍で、ワイヤレスプロジェクタを使用しないでください。

 **メモ：**

- 推奨されるプロジェクタキット (P/N: VXJN3)。詳細については、Dell サポート Web サイト (dell.com/support) を参照してください。
- 詳細については、プロジェクタに付属する安全情報を参照してください。
- M115HD プロジェクタは室内専用です。

2

プロジェクタの接続

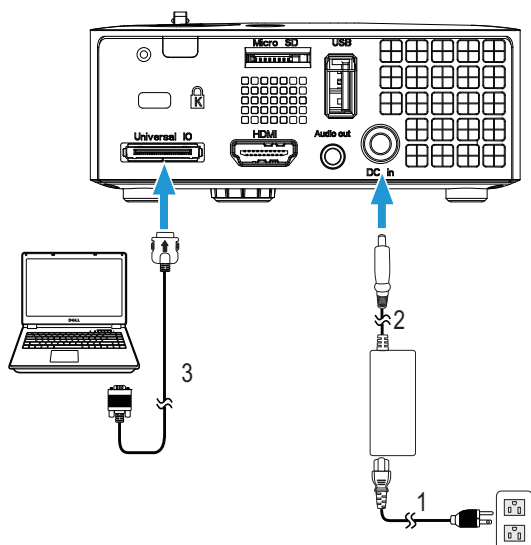


-
- | | | | |
|---|--|---|--------------------------------------|
| 1 | マルチメディア再生用のマイクロ SD カードスロット
(ビデオ / 音楽 / 写真 / オフィスビューア) およびメディアと画像プロセッサファームウェアアップグレードのサポート | 5 | スピーカー |
| 2 | USB ディスプレイ用 USB タイプ A コネクタ、マルチメディア再生 (ビデオ / 音楽 / 写真 / オフィスビューア)、USB メモリストレージアクセス (USB フラッシュドライブ / 内部メモリ) およびプロジェクタ、メディア、画像プロセッサファームウェアアップグレードのサポート、オプションのワイヤレスドングル、MobiShow-Pro、WiFi-Doc のサポート | 6 | HDMI コネクタ |
| 3 | DC 入力コネクタ | 7 | VGA 入力およびオプションのオーディオ出力用ユニバーサル入出力コネクタ |
| 4 | オーディオ出力コネクタ | 8 | セキュリティケーブルスロット |
-

△ **注意**：この章で説明する交換処理の前に、5 ページにある「安全上のご注意」をお読みください。

コンピュータへの接続

VGA ケーブルを使ったコンピュータの接続

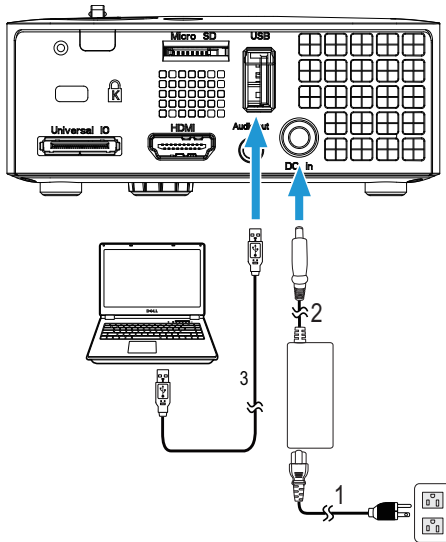


- 1 電源コード
- 2 AC アダプタ
- 3 ユニバーサル 24 ピン VGA ケーブル



メモ: プロジェクタにはユニバーサル 24 ピン VGA ケーブル 1 本のみが付属しています。追加のユニバーサル 24 ピン対 VGA ケーブルまたは 24 ピン対 VGA およびオーディオ出力ケーブルは、Dell Web サイト www.dell.com で購入できます。

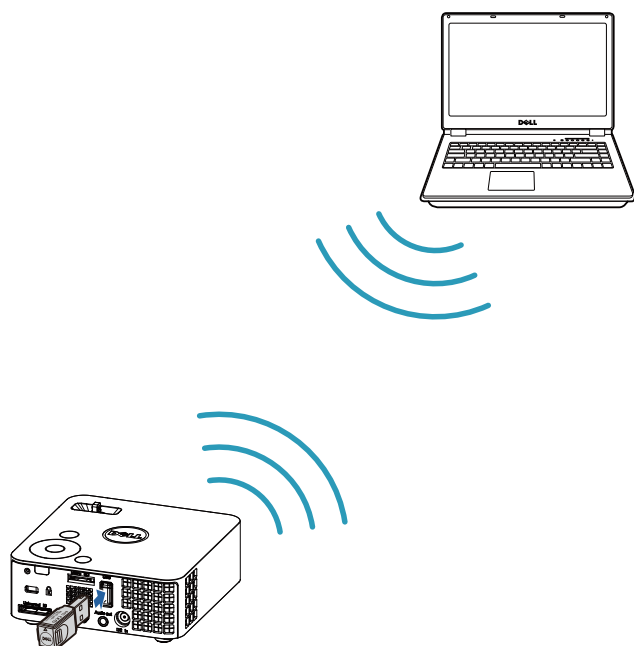
USB ケーブルを使ったコンピュータの接続





- 1 電源コード
- 2 AC アダプタ
- 3 USB-A - USB-A ケーブル

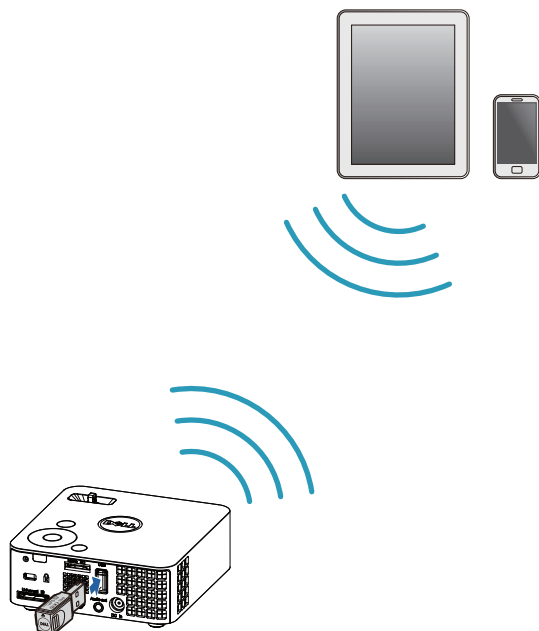
メモ：プラグアンドプレイ。USB (USB A - A) ケーブルは、プロジェクタに付属していません。USB (USB A - A) ケーブルは、Dell Web サイト www.dell.com でご購入いただけます。

ワイヤレス dongle (オプション) を使ったコンピュータを接続する



-  **メモ:** 別のワイヤレス接続を検出するには、お使いのコンピュータにワイヤレスコネクタを装備し適切に設定する必要があります。ワイヤレス接続の設定方法については、コンピュータのマニュアルを参照してください。
-  **メモ:** ワイヤレスディスプレイを使用する場合、プロジェクタにワイヤレス dongle を取り付ける必要があります。ワイヤレス dongle はプロジェクタに付属していません。Dell Web サイト www.dell.com でご購入いただけます。

ワイヤレスドングル (オプション) を使用してスマートフォンやタブレットに接続する



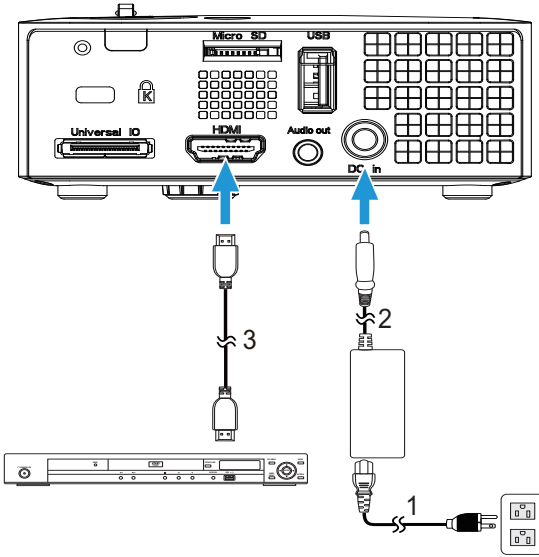
メモ : Dell M115HD は、MobiShow 機能および WiFi-Doc 機能をサポートします。それらは、Android デバイスまたは iOS デバイスからワイヤレスでサポートされるコンテンツを伝送するアプリケーションです。お使いのモバイルデバイスにアプリケーションをインストールして起動した後で、Wi-Fi を有効化し、プロジェクタネットワーク (Dell M115HD) に接続します。詳細については、Dell サポートサイト (dell.com/support) を参照してください。サポートされるファイルは次の通りです。

Mobi Show	写真	jpeg / jpg
	MS Powerpoint	PtG2 (ppt から変換)*
WiFi-Doc	写真	jpeg / jpg
	MS Powerpoint / Word / Excel / Text / PDF	ppt / pptx / doc / docx / xls / xlsx / txt / pdf

* ppt を PtG2 形式に変換するには、PtG2 Converter を PC にインストールしてください。PtG2 Converter は dell.com/support からダウンロードできます。

DVD プレーヤーの接続

HDMI ケーブルを使った DVD プレーヤーの接続



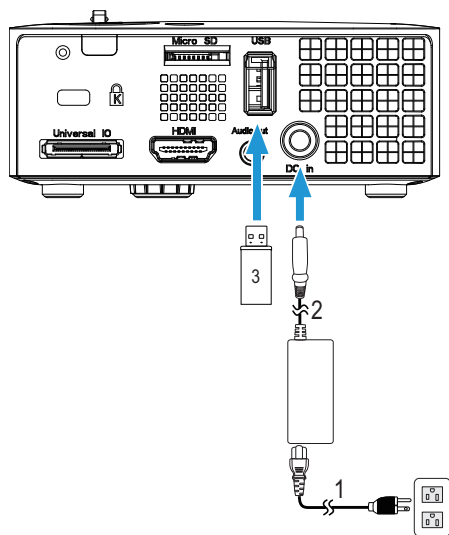
- 1 電源コード
- 2 AC アダプタ
- 3 HDMI ケーブル




メモ : HDMI ケーブルは付属していません。Dell Web サイト www.dell.com で HDMI ケーブルをご購入いただけます。

マルチメディアへの接続

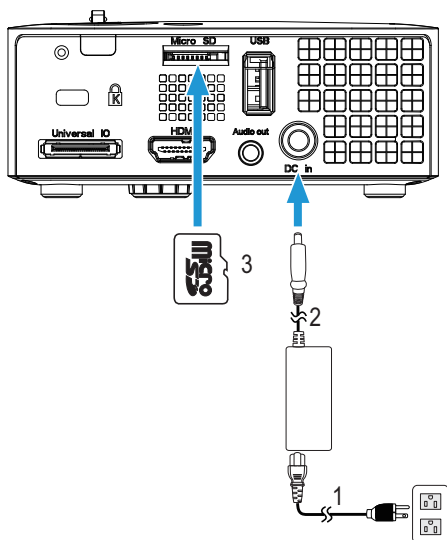
USB フラッシュディスクを使ったマルチメディアへの接続




-
- 1 電源コード
 - 2 AC アダプタ
 - 3 USB フラッシュディスク
-

 **メモ** : USB フラッシュディスクはプロジェクタに付属していません。

マイクロ SD カードを使用するマルチメディアへの接続




- 1 電源コード
- 2 AC アダプタ
- 3 マイクロ SD カード

 **メモ:** マイクロ SD カードはプロジェクタに付属していません。



3


プロジェクタの使用方法

プロジェクタの電源を入れる

-  **メモ**：プロジェクタの電源をオンにしてから、ソース（コンピュータ、DVD プレーヤーなど）の電源をオンにしてください。電源ボタンを押すまで、ボタンは白色で点滅します。
- 1 AC アダプタと一緒に電源コードと適切な信号ケーブルをプロジェクタに接続します。プロジェクタの接続については、7 ページの「プロジェクタの接続」を参照してください。
 - 2 電源ボタンを押します（電源ボタンの位置については、20 ページの「コントロールパネルの使用方法」を参照してください）。
 - 3 ソース（コンピュータ、DVD プレーヤーなど）の電源を入れます。
 - 4 適切なケーブルを使用して、プロジェクタにソースを接続します。プロジェクタにソースを接続する方法については、7 ページの「プロジェクタの接続」を参照してください。
 - 5 デフォルトで、入力ソースは VGA に設定されています。必要に応じて、プロジェクタの入力ソースを変更してください。
 - 6 プロジェクタに複数のソースが接続されている場合は、リモコンまたはコントロールパネルのソースボタンを押して、希望するソースを選択します。ソースボタンを確認するには、20 ページの「コントロールパネルの使用方法」と 22 ページの「リモコンの使用方法」を参照してください。

プロジェクタの電源を切る

-  **注意**：プロジェクタの接続を外す前に、次に説明する手順に従って正しくシャットダウンします。
- 1 電源ボタンを押します。プロジェクタを適切にオフにするには、スクリーンに表示される指示に従ってください。
-  **メモ**：「電源ボタンを押してプロジェクタの電源をオフにします。」メッセージが画面に表示されます。メッセージが 5 秒後に消えるのを待つか、メニューボタンを押してメッセージを消去します。
- 2 電源ボタンをもう一度押します。冷却ファンが 120 秒間作動します。
 - 3 時間を掛けずにプロジェクタの電源を切るには、プロジェクタの冷却ファンが作動中に電源ボタンを 1 秒間押し続けます。

 **メモ**：プロジェクタの電源をもう一度入れる場合は、内部温度が安定するまで 60 秒待ちます。

4 コンセントとプロジェクタから電源ケーブルと AC アダプタの接続を外します。

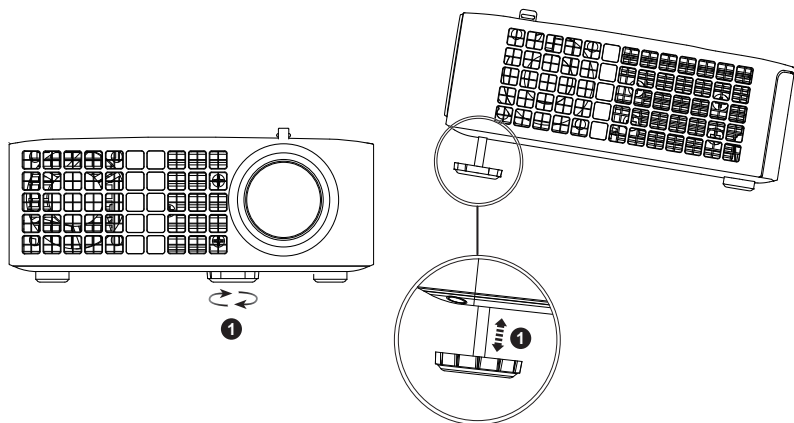
投影画像の調整

プロジェクタの高さを上げる

1 プロジェクタを任意の高さまで上げ、前面傾斜調整ホイールを使ってディスプレイの角度を微調整します。

プロジェクタの高さを下げる

1 プロジェクタを下げ、前面傾斜調整ホイールを使ってディスプレイの角度を微調整します。

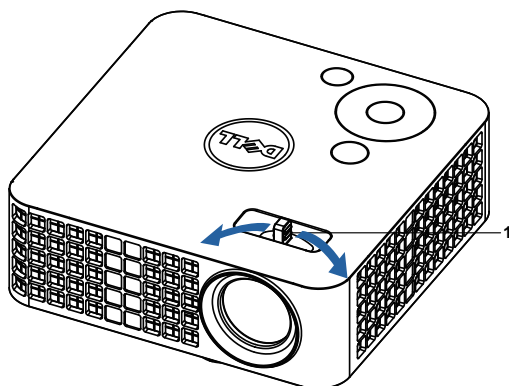


1 前面傾斜調整ホイール（傾きの角度：0～6度）

プロジェクタのフォーカス調整

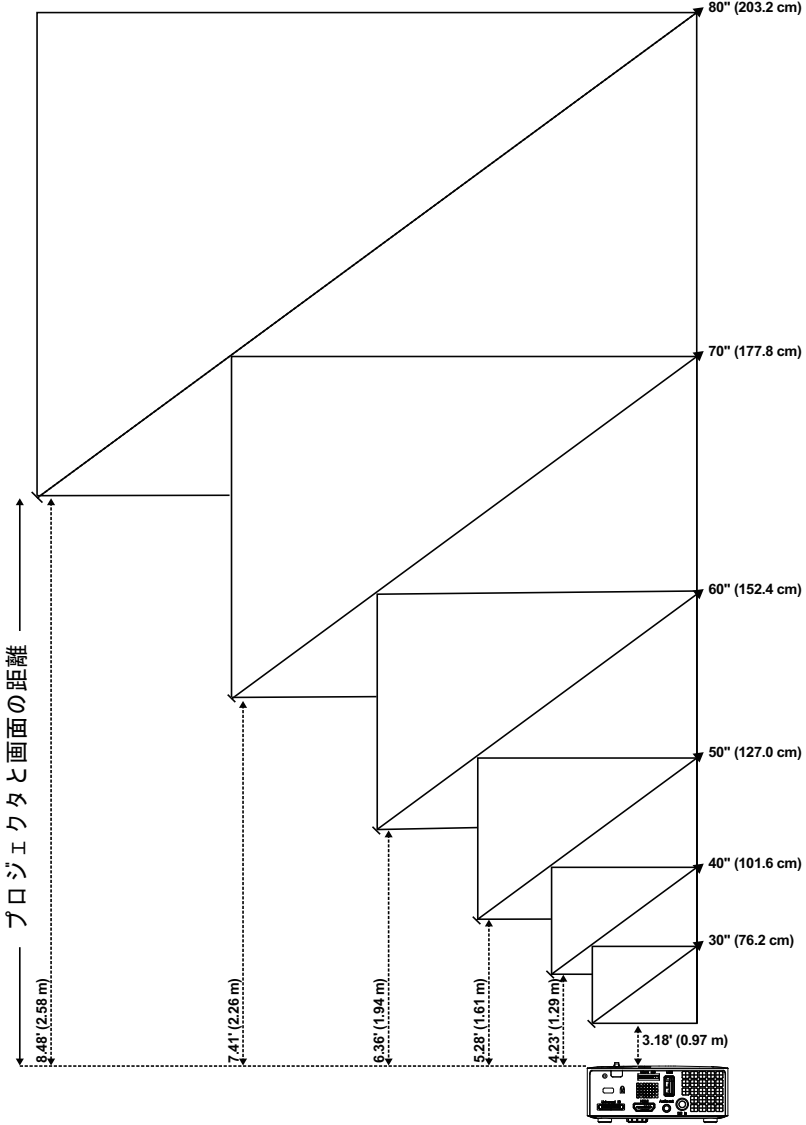
△ **注意**：プロジェクタを移動したり、キャリーケースに収納する場合には、前面調整ホイールが完全に引っ込んでいることを確認して、プロジェクタが破損しないようにします。

1 画像が鮮明になるまでフォーカスタブを回します。プロジェクタで焦点が合う距離は 97 cm ～ 258 cm です。



1 フォーカスタブ

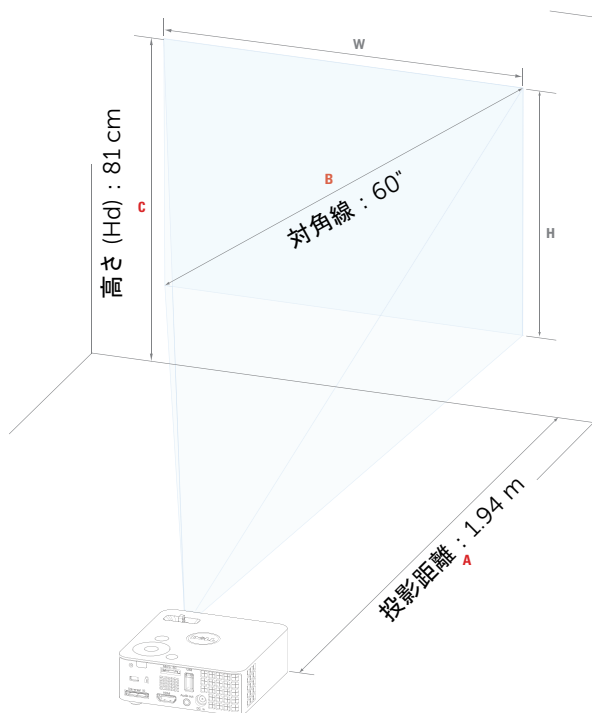
投影画像サイズの調整



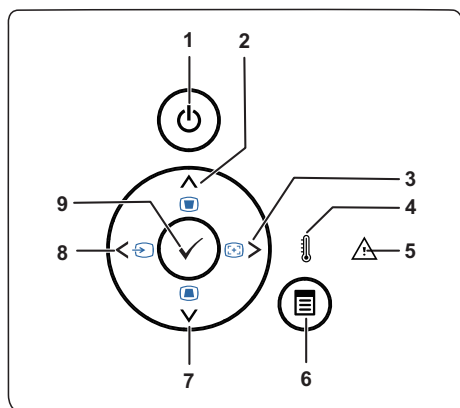
所望距離 (m) <A>	画面サイズ		高さ
	対角 (インチ) 	幅 (cm) x 高さ (cm)	画像の底部から上部まで (cm) <C>
0.97	30	65 x 40	40
1.29	40	86 x 54	54
1.61	50	107 x 67	67
1.94	60	129 x 81	81
2.26	70	151 x 94	94
2.58	80	171 x 108	108



* この表はユーザーの参照用です。





* オフセット比 : 100 %



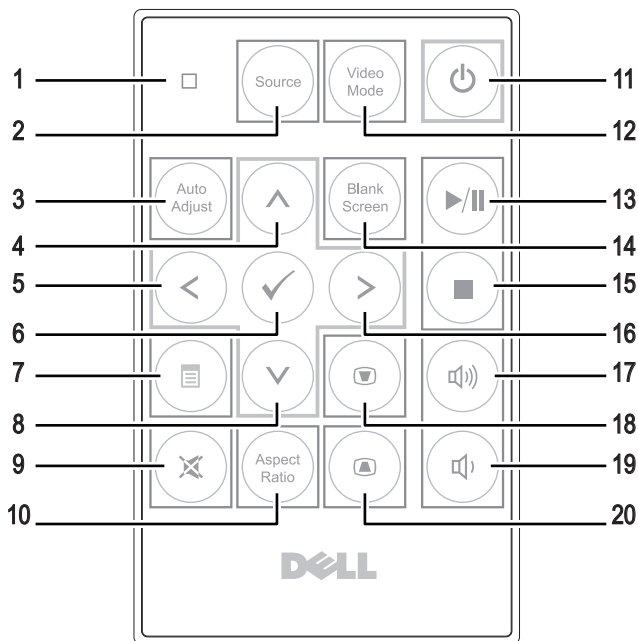
コントロールパネルの使用方法












- | | |
|--|---|
| 1 電源 | プロジェクトの電源のオン / オフを切り替えます。詳しくは、15 ページの「プロジェクトの電源を入れる」および 15 ページの「プロジェクトの電源を切る」を参照してください。 |
| 2 上  / キーストーン調整 | このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。
ボタンを押して、プロジェクトの傾きによって起こるゆがみを調整します (+/- 40 度)。 |
| 3 右  / 自動調整 | このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。
このボタンを押して、プロジェクトと入力ソースを同期化します。
メモ: オンスクリーンディスプレイ (OSD) が表示されている場合は、自動調整は作動しません。 |


4 温度 LED	<p>温度のオレンジ色のインジケータが点灯または点滅している場合、次の問題のどれかが原因とされます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • プロジェクタの内部温度が高すぎる <p>詳しくは、52 ページの「プロジェクタのトラブルシューティング」および 55 ページの「ガイド信号」を参照してください。</p>
5 エラー LED	<p>エラー LED がオレンジ色で点滅している場合、ファンの 1 つが故障しています。プロジェクタは自動的にシャットダウンします。</p>
6 メニュー 	<p>このボタンを押して OSD を起動します。方向キーとメニューボタンで OSD をナビゲートします。</p>
7 下  / キーストーン調整	<p>このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。</p> <p>ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (+/- 40 度)。</p>
8 左  / ソース	<p>このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。</p> <p>プロジェクタに複数のソースを接続している場合は、VGA、DoUSB、HDMI、USB、マイクロ SD および内部メモリソースから押して切り替えてください。</p>
9 入力 	<p>このボタンを押して選択項目を確定します。</p>

リモコンの使用法



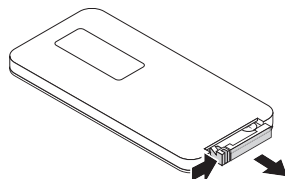
1	LED ライト	LED インジケータ。
2	Source	押して、VGA、DoUSB、HDMI、USB、マイクロ SD、内部メモリソースを切り替えます。
3	Auto adjust	このボタンを押して、プロジェクタと入力ソースを同期化します。OSD（オンスクリーンディスプレイ）が表示されている場合は、自動調整は作動しません。
4	上 (↑)	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。
5	左 (←)	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。
6	入力 (✓)	このボタンを押して選択を確定します。
7	メニュー (☰)	このボタンを押して OSD を起動します。

8	ダウン 	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。
9	消音 	このボタンを押して、プロジェクタのスピーカーを消音にしたり消音を解除します。
10	Aspect ratio	このボタンを押して、表示された画像のアスペクト比を変更します。
11	電源 	プロジェクタの電源を入れたり切ります。詳しくは、15 ページの「プロジェクタの電源を入れる」および 15 ページの「プロジェクタの電源を切る」を参照してください。
12	Video mode	<p>プロジェクタには、データ（プレゼンテーションスライド）やビデオ（映画、ゲームなど）の表示に最適なプリセット設定があります。</p> <p>Video Mode ボタンを押して、プレゼンテーションモード、明るさモード、映画モード、sRGB、またはカスタムモードを切り替えます。</p> <p>Video Mode ボタンを 1 回押すと、現在の表示モードが表示されます。もう一度 Video Mode ボタンを押すと、モードが切り替わります。</p>
13	再生 / 一時停止 	このボタンを押してメディアファイルを再生 / 一時停止します。
14	Blank screen	このボタンを押して、画像を表示したり非表示にします。
15	停止 	このボタンを押してメディアファイルの再生を停止します。
16	右 	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。
17	音量アップ 	このボタンを押して音量を上げます。
18	キーストーン調整 	ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (+/- 40 度)。
19	音量ダウン 	このボタンを押して音量を下げます。

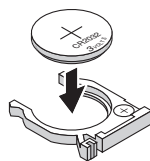
-
- 20 キーストーン調整  ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (+/- 40 度)。
-


リモコンのバッテリーの取り付け（オプション）

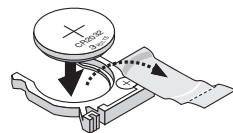
- 1 側面をしっかり押し、バッテリーホルダーを引き出してバッテリーホルダを取り出します。



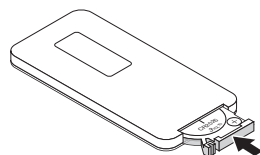
- 2 CR2032 ボタン電池を入れ、バッテリーホルダーのマークに合わせて電極を正しい向きに合わせます。



-  **メモ：**リモコンを初めて使用する際は、バッテリーと端子の間にプラスチックシートが挟んであります。ご使用前にそのシートを取り出してください。

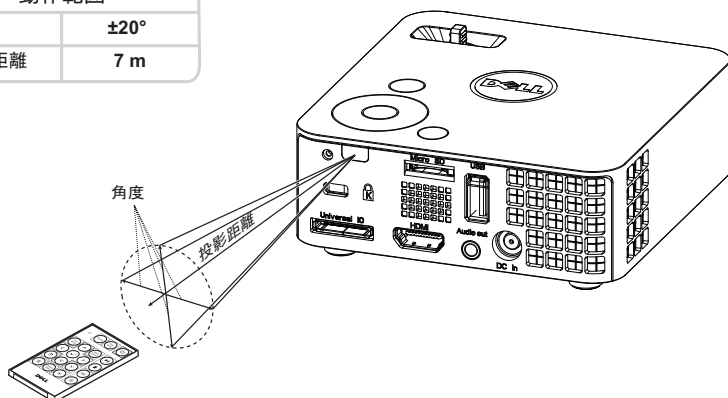


- 3 バッテリーホルダーを元に戻します。



オプションのリモコンの動作範囲

動作範囲	
角度	±20°
投影距離	7 m



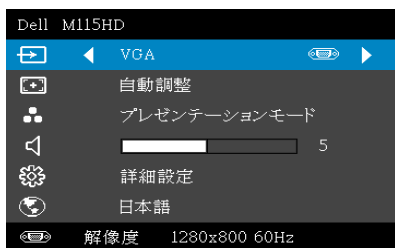
メモ：実際の動作範囲は、図とわずかに異なることがあります。バッテリー残量が少ない場合も、リモコンでプロジェクタを適切に操作できない原因となります。

オンスクリーンディスプレイの使用方法

- プロジェクタには多言語のオンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューがあり、入力ソースの有無に関わらず表示されます。
- コントロールパネルまたはリモコンの [メニュー] ボタンを押して [メインメニュー] に入ります。
- オプションを選択するには、プロジェクタのコントロールパネルまたはリモコンの (▲) または (▼) ボタンを押します。
- コントロールパネルまたはリモコンの (◀) または (▶) ボタンを使って設定を調整します。
- OSD を終了するには、コントロールパネルまたはリモコンのメニューボタンを直接おします。

入力ソース

入力ソースメニューを使ってプロジェクタの入力ソースを選択します。



自動ソース—(▼) を選択し押して有効にすると、自動ソースオプションが次の使用可能な入力信号を自動検出します。

VGA—(▼) を押して VGA 信号を検出します。

DoUSB—USB ケーブル経由で、プロジェクタにデスクトップ/ノート PC スクリーンを表示します。



メモ : DoUSB が表示されない場合は、52 ページの「トラブルシューティング」を参照してください。

HDMI—(▼) を押して HDMI 信号を検出します。

USB—USB フラッシュディスクから写真、音楽またはビデオファイルを再生できます。40 ページの「マルチメディア入門」をご覧ください。

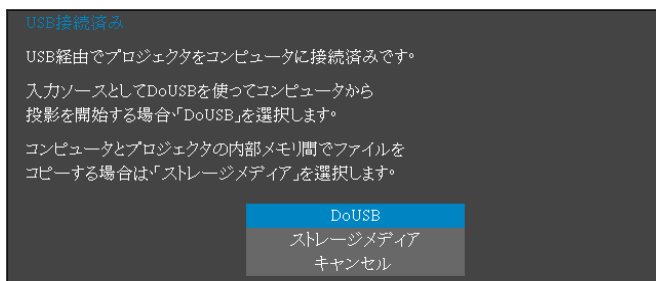
マイクロ SD—マイクロ SD カードから写真、音楽またはビデオファイルを再生できます。40 ページの「マルチメディア入門」をご覧ください。

内部メモリ—プロジェクタの内部メモリから写真、音楽またはビデオファイルを再生できます。40 ページの「マルチメディア入門」をご覧ください。

メモ：

ストレージメディア—また、USB ケーブルを内部メモリソースに接続して、コンピュータから内部メモリおよび SD カードに対してコピー、削除、移動などの操作を行うことができます。

USB ケーブル経由でプロジェクタとコンピュータを接続すると、「USB が接続されました」というメッセージが表示され、**DoUSB** または **ストレージメディア** から選択することができます。



自動調整

自動調整を使って、PC モードでプロジェクタの**水平**、**垂直**、**周波数**、**トラッキングモード**を自動的に調整します。



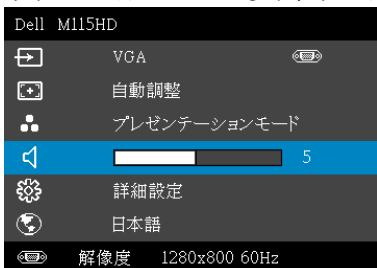
ビデオモード

ビデオモードメニューでは、ディスプレイ画像を最適化します。オプション：プレゼンテーション、明るさ、映画、sRGB（より精密な色を提供します）、カスタム（お好みの設定を設定します）モード。



ボリューム

ボリュームメニューにより、プロジェクタの音量設定を調整できます。




ボリューム ← を押して音量を下げ、→ を押して音量を上げます。

詳細設定



詳細設定メニューは、画像、表示、投写機、メニュー、パワー、および情報の設定を変更します。




画像設定 (PC モードで)— を選択して押し、画面設定を起動します。
[画像設定]メニューには次のオプションがあります。


詳細設定		Dell M115HD
画像設定	明るさ	▶ 50
表示設定	コントラスト	▶ 50
投写機設定	色温度	▶ 中
メニュー設定	白の強度	▶ 10
パワー設定		
情報		
解像度		1280x800 60Hz


明るさ—やを押して画像の明るさを調整します。

コントラスト—やを押してディスプレイのコントラストを調整します。

色温度—色温度を調整します。画面は、色温度が高いと寒色になり、色温度が低いと暖色になります。



白の強度—を押し、とを使用して白の強度を表示します。

 **メモ:** 明るさ、コントラスト、色温度および白の強度の設定を調整すると、プロジェクタは自動的にカスタムモードに切り替わります。

画像設定 (ビデオモード)— を選択して押し、画面設定を起動します。
[画像設定]メニューには次のオプションがあります。

詳細設定		Dell M115HD
画像設定	明るさ	▶ 50
表示設定	コントラスト	▶ 50
投写機設定	色温度	▶ 中
メニュー設定	彩度	▶ 50
パワー設定	鮮明度	▶ 50
情報	色合い	▶ 50
	白の強度	▶ 10
解像度		1280x800 60Hz

明るさ—やを押して画像の明るさを調整します。

コントラスト—やを押してディスプレイのコントラストを調整します。


色温度 — 色温度を調整します。画面は、色温度が高いと寒色になり、色温度が低いと暖色になります。

彩度 — ビデオソースを白黒から彩度のあるフルカラーに調整します。(▲)を押して画像の色の量を増やし、(▼)を押して画像の色の量を減らします。

鮮明度 — (▲)を押して鮮明度を上げ、(▼)を押して鮮明度を下げます。

色合い — (▲)を押して画像の緑の量を増やし、(▼)を押して画像の緑の量を減らします。

白の強度 — (▼)を押し、(▲)と(▼)を使用して白の強度を表示します。

 **メモ**：明るさ、コントラスト、色温度および白の強度の設定を調整すると、プロジェクタは自動的にカスタムモードに切り替わります。

表示設定 (PC モードで) — (▼)を選択して押し、表示設定を起動します。表示設定メニューには次のオプションがあります。

詳細設定		Dell M115HD
画像設定	水平位置	▶ 50
表示設定	垂直位置	▶ 50
投写機設定	周波数	▶ 50
メニュー設定	トラッキング	▶ 50
パワー設定	縦横比	▶ 元
情報	ズーム	▶ X 3
	ズームナビゲーション	▶ を押し ✓

解像度 1280x800 60Hz

水平位置 — (▲)を押して画像を右へ移動し、(▼)を押して画像を左へ移動します。

垂直位置 — (▲)を押して画像を上へ移動し、(▼)を押して画像を下へ移動します。

周波数 — ディスプレイのデータクロック周波数を変更し、コンピュータのグラフィックスカードの周波数と合わせます。縦線がちらつく場合は、周波数コントロールを使って縦線を最小限に抑えます。これは粗調整です。

トラッキング — ディスプレイ信号の位相をグラフィックスカードと同期化します。画像が不安定だったり、ちらつく場合は、トラッキングを使って修正します。これは微調整です。

縦横比—縦横比を選択して画像の表示方法を調整します。オプション：元、16:10 および 4:3。

- 元—元を選択して入力ソースに従って画像プロジェクタの縦横比を維持します。
- 16:10—入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、16:10 スクリーン画像を投影します。
- 4:3—入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、4:3 スクリーン画像を投影します。

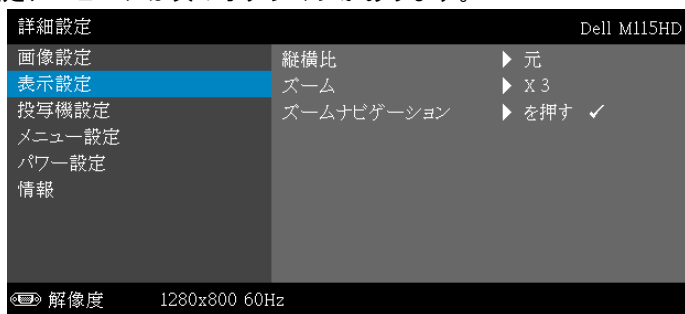
ズーム— \odot と \ominus を押して、画像をズームし表示します。



ズームナビゲーション— \checkmark を押してズームナビゲーションメニューを起動します。

\odot \ominus \uparrow \downarrow を使用してプロジェクション画面をナビゲートします。

表示設定 (ビデオモード)— \checkmark を選択して押し、表示設定を起動します。表示設定メニューには次のオプションがあります。








縦横比—縦横比を選択して画像の表示方法を調整します。オプション：元、16:10 および 4:3。


- 元—元を選択して入力ソースに従って画像プロジェクタの縦横比を維持します。
- 16:10—入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、16:10 スクリーン画像を投影します。
- 4:3—入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、4:3 スクリーン画像を投影します。

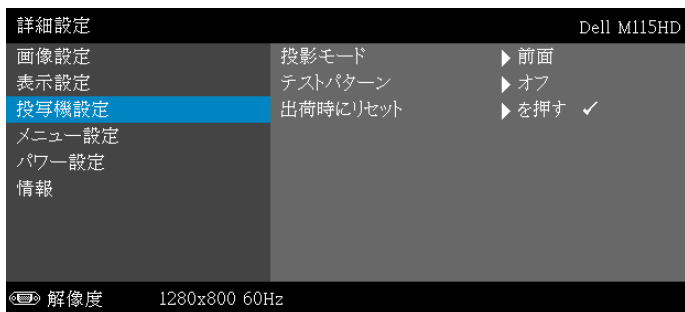
ズーム— \odot と \ominus を押して、画像をズームし表示します。



ズームナビゲーション  を押して**ズームナビゲーションメニュー**を起動します。

    を使用してプロジェクション画面をナビゲートします。


投写機設定  を選択して押して、**プロジェクタ設定**を起動します。プロジェクタ設定メニューには次のオプションがあります。






投影モード — プロジェクタの取り付け方法によって投影モードを選択できます。

- **リアプロジェクションデスクトップ** — プロジェクタは画像を反転表示します。透過画面の裏面から投影することができます。
- **フロントプロジェクションデスクトップ** — これは初期設定オプションです。

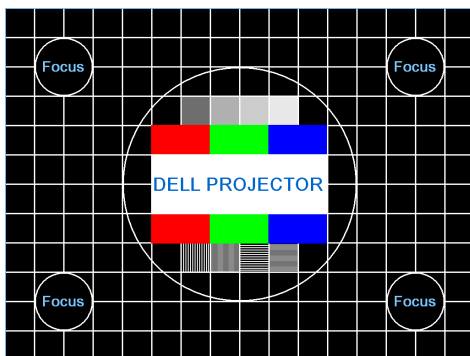
テストパターン — テストパターンは、フォーカスと解像度をテストするために使用されます。

オフ、**1**、または **2** を選択して**テストパターン**の有効 / 無効を切り替えることができます。コントロールパネルの  と

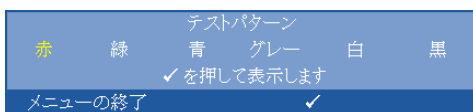
 ボタンを 2 秒間同時に押し続けることで、**テストパターン 1** を呼び起こすこともできます。コントロールパネルの  と

 ボタンを 2 秒間同時に押し続けることで、**テストパターン 2** を呼び起こすこともできます。

テストパターン 1 :



テストパターン 2 :

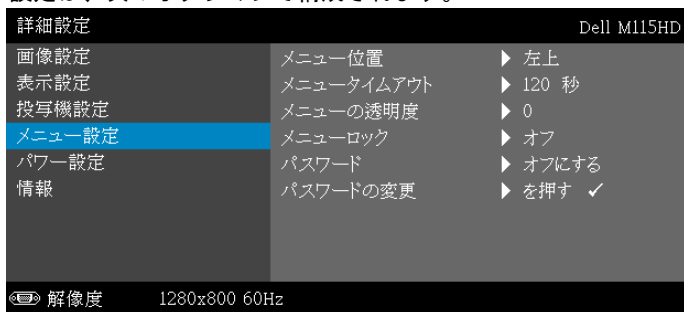


出荷時にリセット — 確認を選択して を押すと、すべての設定が工場出荷時デフォルト値にリセットされます。以下の警告メッセージが表示されます。

出荷時にリセットしています

コンピュータソースやビデオソース設定もリセットされます。

メニュー設定 — を選択して押して、メニュー設定を起動します。メニュー設定は、次のオプションで構成されます。



メニュー位置 — OSD メニューの画面上の位置を変更します。


メニュータイムアウト—OSD タイムアウトの遅延時間を調整します。初期設定では、20 秒操作しないと OSD は非表示になります。

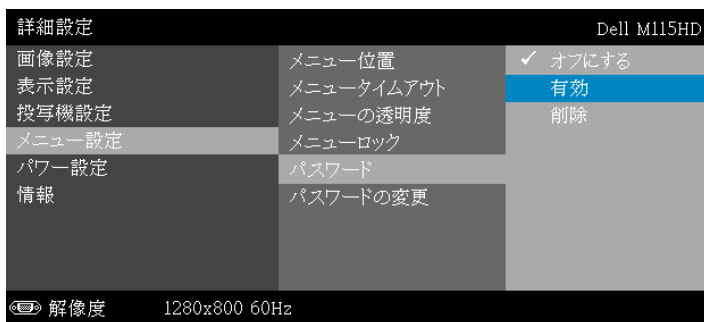
メニューの透明度—OSD 背景の透明度レベルを変更します。


メニューロックオンを選択するとメニューロックが有効になり、OSD メニューが非表示になります。**オフ**を選択するとメニューロックが解除されます。メニューロック機能を無効にして OSD を非表示にしたい場合は、コントロールパネルまたはリモコンのメニューボタンを 15 秒間押し、次に機能を無効にします。

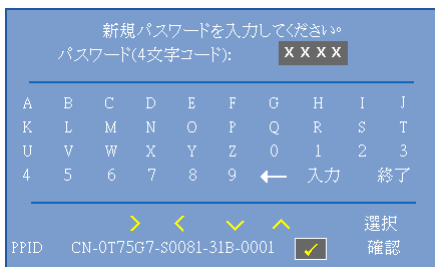
パスワード—パスワード保護が有効になっている場合は、電源プラグをコンセントに挿入し、プロジェクタの電源が初めて入ると、パスワードの入力を求めるパスワード保護画面が表示されます。初期設定ではこの機能は無効です。有効を選択することで、この機能を有効にできます。パスワードを前に設定している場合、まずパスワードを入力してから機能を選択します。このパスワードセキュリティ機能は、次回プロジェクタをオンにすると起動します。この機能を有効にすると、プロジェクタの電源を入れるとパスワードの入力が求められます。

1 初回パスワード入力の要請。

- a **メニュー設定**に移動し、を押したら**パスワード**を選択しパスワード設定を有効化します。




- b パスワード機能を有効にすると、変更スクリーンがポップアップ表示されます。スクリーンから4桁の数字を入力し、を押します。



新規パスワードを入力してください[※]
パスワード(4文字コード): XXXX

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	入力	終了	

選択 確認
PPID CN-0T75G7-S0081-31B-0001

- c 確認のため、パスワードをもう一度入力します。
- d パスワードが認証されると、プロジェクトの機能とユーティリティにアクセスできます。
- 2 間違ったパスワードを入力した場合、あと2回以内に正しいパスワードを入力する必要があります。3回無効なパスワードを入力すると、プロジェクトは自動的にオフになります。
-  **メモ:** パスワードを忘れた場合は、DELL または正規サービス技術者までご連絡ください。
- 3 パスワード機能を無効にするには、**オフにする**を選択して機能を閉じます。
- 4 パスワードを削除するには、**削除オプション**を選択します。

パスワードの変更 元のパスワードを入力します。次に、新しいパスワードを入力し、新しいパスワードを再び確認します。

元のパスワードを入力してください。*

パスワード(4文字コード):

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	入力	終了	

PPID CN-0T75G7-S0081-31B-0001 選択確認

新規パスワードを入力してください。*

パスワード(4文字コード):

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	入力	終了	


PPID CN-0T75G7-S0081-31B-0001 選択確認

新しいパスワードを再入力してください。*

パスワード(4文字コード):

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	入力	終了	

PPID CN-0T75G7-S0081-31B-0001 選択確認

パワー設定  を選択して押して、電源設定を起動します。電源設定メニューには次のオプションがあります。



省電力—デフォルトで、プロジェクタは 120 秒間動作しないと省電力モードに入ります。画面に、60 秒間のカウントダウンの後、省電力モードに切り替わるという警告メッセージが表示されます。カウントダウンの間にどれかのボタンを押すと、省電力モードは停止します。

省電力モードに入る遅延時間は、他にも設定できます。遅延時間は、入力信号がない状態でプロジェクタが待機する時間です。

遅延時間の間に入力信号が検出されると、プロジェクタはオフになります。プロジェクタの電源を入れるには電源ボタンを押します。

LED モード—ノーマルまたはエコモードから選択します。

ノーマルモードは、全出力レベルで作動します。エコモードは低電力レベルで作動するため、LED の寿命が延び、操作が静かになり、また、画面上のルミネンス出力が弱くなります。

情報 — 情報メニューには、現在の M115HD プロジェクタ設定が表示されます。

詳細設定		Dell M115HD
画像設定	モデル名	: Dell M115HD
表示設定	オペレーション時	: 10 hours
投写機設定	PPID	: CN-0T75G7-S0081-31B-0001
メニュー設定	FW版	: M0R001
パワー設定		
情報		

解像度 1280x800 60Hz

言語

OSD 用の言語を設定します。◀と▶を押して言語を選択し、✓を押して言語を変更します。



マルチメディア入門

サポートされるマルチメディアフォーマット。

写真形式

画像タイプ (拡張子名)	サブタイプ	エンコードタイプ	最大ピクセル	最大 サイズ
Jpeg / Jpg	ベースライン	YUV420	無制限	2GB
		YUV422		
		YUV440		
		YUV444		
	プログレッシブ	YUV420	64x パネル 解像度	2GB
		YUV422		
		YUV440		
		YUV444		
BMP			64x パネル 解像度	


ビデオ形式

ファイル形式	ビデオ 形式	最大 解像度	最大 ビットレート (bps)	オーディオ形式
MOV、MP4、 AVI、MKV、 DIVX	H264	1080P	20Mbps	AC3、DTS、MP1、 MP2、MP3、PCM、 ADPCM
MOV、MP4	MPEG4	1080P	20Mbps	AMR、PCM、ADPCM
WMV	WMV3	1080P	20Mbps	WMA2、WMA3

音楽フォーマット

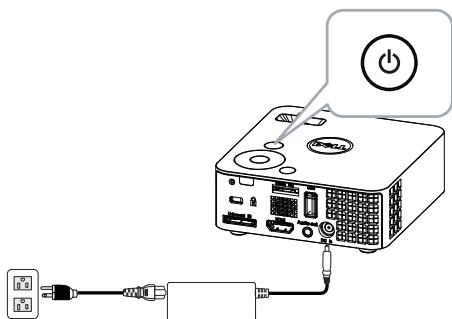
音楽タイプ (拡張子名)	サンプルレート (KHz)	ビットレート (Kbps)
MP1	8-48	8-320
MP2	8-48	8-320
MP3	8-48	8-320
WMA	22-48	5-320

USB を使ってマルチメディアにファイルタイプをセットアップする方法

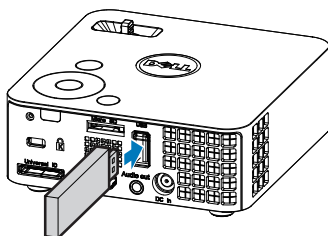
 **メモ**：マルチメディア USB 機能を使用する場合、プロジェクトに USB フラッシュディスクをつなぐ必要があります。

以下のステップに従って、プロジェクトで写真、ビデオ、または音楽ファイルを再生します。

- 1 AC アダプタを使って電源ケーブルを接続し、電源ボタンを押してプロジェクトの電源をオンにします。



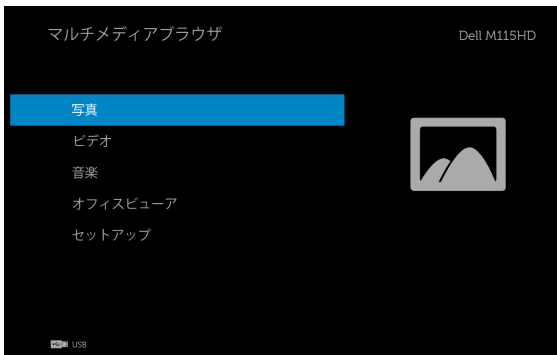
- 2 USB フラッシュディスクをプロジェクトに差し込みます。



- 3 入力ソースメニューにアクセスし、**USB** オプションを選択して ボタンを押します。



USB 画面が次のように表示されます。



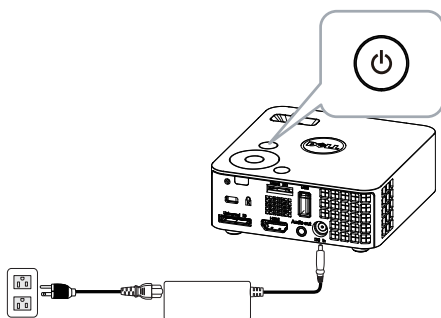
- 4 マルチメディアファイルを選択し、マルチメディアファイル (**写真**、**ビデオ**、**音楽**または**オフィスビューア**)を選択し、 を押して再生を開始します。または、**セットアップ**オプションを選択して、マルチメディア設定を変更します。48 ページの「マルチメディアのセットアップ」を参照してください。

マイクロ SD カードを使ってマルチメディアにファイルタイプを設定する方法

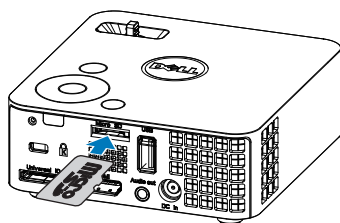
メモ：マルチメディアマイクロ SD 機能を使用する場合、プロジェクトにマイクロ SD カードを入れる必要があります。


以下のステップに従って、プロジェクトで写真、ビデオ、または音楽ファイルを再生します。

- 1 AC アダプタを使って電源ケーブルを接続し、電源ボタンを押してプロジェクトの電源をオンにします。



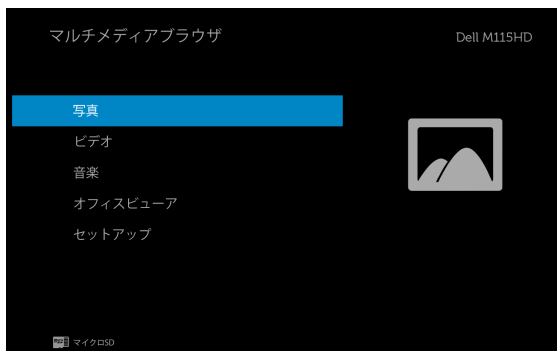
- 2 マイクロ SD カードをプロジェクトに差し込みます。マイクロ SD カードを入れると、画像入カソースはマイクロ SD 画面に自動的に切り替わります。




- 3 入力ソースメニューにアクセスし、マイクロSD オプションを選択して  ボタンを押します。



マイクロSD 画面が次のように表示されます。

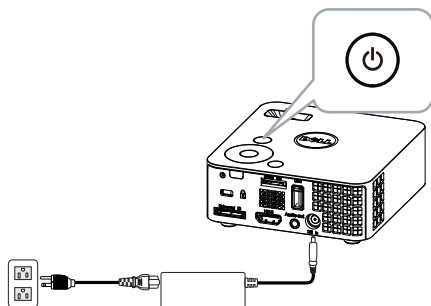



- 4 マルチメディアファイルを選択し、マルチメディアファイル(写真、ビデオ、音楽またはオフィスビューア)を選択し、 を押して再生を開始します。または、セットアップオプションを選択して、マルチメディア設定を変更します。48 ページの「マルチメディアのセットアップ」を参照してください。

内部メモリを使ってマルチメディアにファイルタイプをセットアップする方法

以下のステップに従って、プロジェクタで写真、ビデオ、または音楽ファイルを再生します。

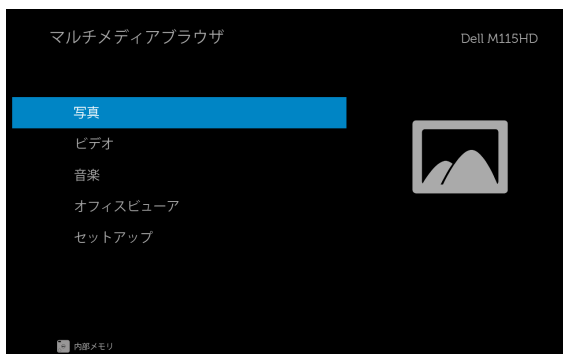
- 1 ACアダプタを使って電源ケーブルを接続し、電源ボタンを押してプロジェクタの電源をオンにします。



- 2 入力ソースメニューにアクセスし、内部メモリオプションを選択して  ボタンを押します。



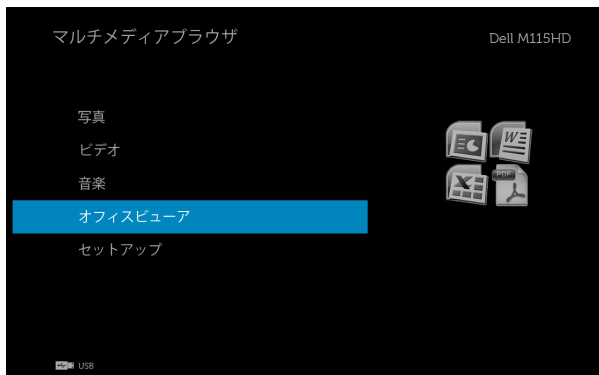
内部メモリ画面が次のように表示されます。




- 3 マルチメディアファイルを選択し、マルチメディアファイル(写真、ビデオ、音楽またはオフィスビューア)を選択し、を押して再生を開始します。または、セットアップオプションを選択して、マルチメディア設定を変更します。48 ページの「マルチメディアのセットアップ」を参照してください。







USB、SD および内部メモリ用オフィスビューア

オフィスビューア機能により、MS Excel、MS Word、MS PowerPoint および PDF ファイルを使用することができます。




ボタンの概要

上、下、左、右ボタンを使ってナビゲートし、プロジェクタのコントロールパネルまたはリモコンの  ボタンを使って選択します。

ボタン	上 	下 	左 	右 	入力 	メニュー 
サブメニューなし	上	下	左	右	ページに合わせる / 幅に合わせる	操作メニュー
ポップアップサブメニュー	ページ上	ページ下	Zoom in	Zoom out	回転	オフィスビューアの終了

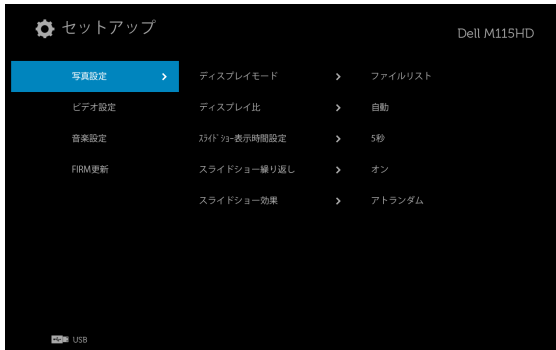
USB、マイクロ SD および内部メモリへのマルチメディアのセットアップ

マルチメディアセットアップメニューでは、写真、ビデオおよび音楽の設定を変更します。

 **メモ**：USB、マイクロ SD および内部メモリでマルチメディアセットアップメニューおよび設定は共通です。

写真設定

を選択して押し、写真セットアップメニューを起動します。写真セットアップメニューには次のオプションがあります。




ディスプレイモード — または を押して、画面の写真の表示モードを選択します。オプション：ファイルリスト、サムネイルとスライドショー。

ディスプレイ比 — または を押して写真の表示比を自動(元の比率)またはフル(フル画面)で選択します。


スライドショー表示時間設定 — または を押してスライドショーの間隔を選択します。タイムアウトになった後、画像は自動的に次の画像に切り替わります。オプション：5秒、15秒、30秒、1分、5分と15分。

スライドショー繰り返し — オンを選択してスライドショーをリピートします。または、「オフ」を選択して、最後のページに達したときにスライドショーを停止します。



スライドショー効果 — または を必要なスライドショーのエフェクトを選択します。オプション：アトランダム、長方形、オフ、ヘビ、パーティション、消去、ブラインド、ライン、グリッドの十字表示、十字とらせん。

 **メモ**：スライドショー表示時間設定、スライドショー繰り返し、およびスライドショー効果機能は、スライドショーモードのみサポートします。

ビデオ設定



 を選択して押し、ビデオセットアップメニューを起動します。ビデオセットアップメニューには次のオプションがあります。



ディスプレイ比 —  または  を押してビデオの表示比を選択します。

自動 —元の縦横比を保持します。

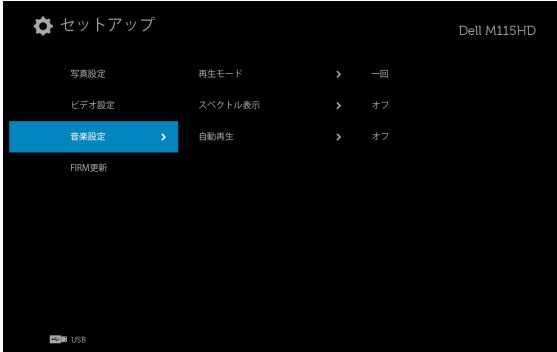
最初のサイズ —ビデオを元のサイズで表示します。

再生モード —  または  を押してビデオ再生モードを選択します。オプション：一回、一回繰り返し、繰り返し、とアトランダム。

自動再生 —オンを選択して、ビデオリストに入るときに自動的にビデオを再生します。

音楽設定

⓪を選択して押し、音楽セットアップメニューを起動します。音楽セットアップメニューには次のオプションがあります。



再生モード — Ⓜ または ⓪ を押し、音楽再生モードを選択します。オプション：一回、一回繰り返し、繰り返し、とアトランダム。

スペクトル表示 — オンを選択して、音楽の再生中にスペクトラムプロットを表示します。

自動再生 — オンを選択して、音楽リストに入るときに自動的に音楽を再生します。

FIRM 更新

⓪を選択して押し、FIRM 更新メニュー設定を起動します。FIRM 更新メニューには次のオプションがあります。



メディア 「はい」を選択してファームウェア更新画面に入り、確認オプションを選択してからマイクロ SD カードと USB フラッシュドライブによりメディアファームウェアを更新します。

イメージプロセッサ 「はい」を選択してファームウェア更新画面に入り、確認オプションを選択してからマイクロ SD カードと USB フラッシュドライブによりビデオデコーダーファームウェアを更新します。



メモ：メディアとイメージプロセッサファームウェアアップグレードは、SD インターフェースと USB フラッシュドライブをサポートします。**メディアとイメージプロセッサ**ファームウェア (*.bin と *.inf ファイル) がマイクロ SD カード (または USB フラッシュドライブ) のルートディレクトリにあることを確認してください。



メモ：Dell サポートサイト (dell.com/support) から「メディアと画像プロセッサ」ファームウェアファイルをダウンロードできます。

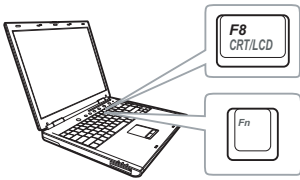
4

プロジェクタのトラブルシューティング



プロジェクタに問題が生じた場合は、次のトラブルシューティングを参照してください。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください (Dell へのお問い合わせは 60 ページをご覧ください)。





問題


画面に画像が表示されない



解決方法

- プロジェクタの電源がオンになっていることを確認します。
- 「入力ソース」メニューで、正しい入力ソースを選択していることを確認してください。
- 外部グラフィックスポートが有効になっていることを確認します。Dell ノートパソコンをご使用の場合は   (Fn+F8) を押します。その他のコンピュータについては、それぞれの取扱説明書をお読みください。画像が正しく表示されない場合、コンピュータのビデオドライバをアップグレードしてください。Dell コンピュータについては、dell.com/support を参照してください。
- すべてのケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。7 ページの「プロジェクタの接続」をご覧ください。
- コネクタのピンが曲がったり、折れたりしていないことを確認します。
- 詳細設定メニューの投写機設定のテストパターンを使用します。テストパターンの色が正しいことを確認します。

問題 (続き)	解決方法 (続き)
画像が一部しか表示されない、スクロールする、または、正しく表示されない	<ol style="list-style-type: none"> 1 リモコンまたはコントロールパネルの自動調整ボタンを押します。 2 Dell ノートパソコンをお使いの場合は、コンピュータの解像度を WXGA (1280 x 800) に設定します。 <ol style="list-style-type: none"> a Microsoft® Windows® デスクトップの空白部分を右クリックし、プロパティ をクリックして設定タブを選択します。 b 外部モニターポートの設定が 1280 x 800 ピクセルになっていることを確認します。 c   (Fn+F8) を押します。
画面にプレゼンテーションが表示されない	ノートパソコンをお使いの場合は、   (Fn+F8) を押します。
画像が不安定、または、ちらつく	詳細設定 メニューの OSD 表示設定 でトラッキングを調整します (PC モードのみ)。
画像に縦線が入る	詳細設定 メニューの OSD 表示設定 で周波数を調整します (PC モードのみ)。
画像の色が正しくない	詳細設定 メニューの 投写機設定 の テストパターン を使用します。テストパターンの色が正しいことを確認します。
画像の焦点が合わない	<ol style="list-style-type: none"> 1 プロジェクタレンズのフォーカスリングを調整します。 2 投影画面がプロジェクタから許容距離内にあることを確認します (97 cm ~ 258 cm)。
画像が反転する	OSD で 詳細設定 の 投写機設定 を選択し、 投影モード を調整します。

問題 (続き)	解決方法 (続き)
エラー LED がオレンジ色で点滅	プロジェクタのファンが故障し、プロジェクタは自動的にシャットダウンします。
温度 LED がオレンジ色で点灯	プロジェクタが過熱しています。ディスプレイは自動的にシャットダウンします。プロジェクタが冷却してからディスプレイの電源をもう一度入れます。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。
温度 LED がオレンジ色で点滅	プロジェクタのファンが故障すると、プロジェクタは自動的に停止します。電源ボタンを 10 秒間押し続けることで、プロジェクタモードを消去してください。5 分間待ってから、再び電源をオンにしてください。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。
OSD が画面に表示されない	パネルにあるメニューボタンを 15 秒間押しして OSD のロックを解除します。35 ページのメニューロックを確認します。
リモコンがスムーズに動作しない、または、限られた範囲でしか動作しない	電池の残量が少なくなっています。遠隔地からの LED 表示が弱過ぎないか点検します。LED インジケータが弱い場合は、新しい CR2032 電池と交換します。
DoUSB が表示されません	Display over USB (DoUSB) は、自動的に実行されます。手動で USB ディスプレイを実行するには、マイコンピュータに移動し、「USB_Display.exe」を実行します。  メモ: ドライバをインストールするには、管理者レベルのアクセス権が必要になります。ネットワーク管理者に連絡し、サポートを求めてください。

ガイド信号

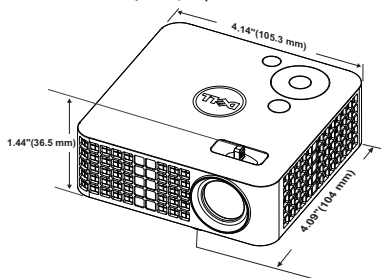
プロジェクターの状態	説明	コントロールボタン	インジケータ	
		電源 (白 / オレンジ色)	温度 (オレンジ色)	Δ (オレンジ色)
スタンバイモード	スタンバイモードのプロジェクタ。電源を入れる準備ができました。	白の点滅	オフ	オフ
LED オン	通常モードのプロジェクタ。画像表示の準備ができました。	白	オフ	オフ
冷却モード	プロジェクタは冷却してシャットダウンします。	白	オフ	オフ
プロジェクタが過熱	通気口が塞がれているか、周囲温度が35°Cを超えていることが考えられます。通気口が詰まっておらず、周囲温度が動作範囲内にあることを確認します。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オフ	オレンジ色	オフ
ファンが故障しています	ファンの1つが故障しました。プロジェクタは自動的にシャットダウンします。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オフ	オレンジ色で点滅	オフ
LED 故障	欠陥のある LED が点灯します。	オフ	オフ	オレンジ色
R-LED ドライバ過熱	通気口が塞がれているか、R-LED ドライバが過熱しています。プロジェクタは自動的にシャットダウンします。プロジェクタが冷却してからディスプレイの電源をもう一度入れます。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オレンジ色	オレンジ色	オフ

5

仕様

ライトバルブ	0.45" WXGA S450 DMD、DarkChip3™
明るさ	450 ANSI ルーメン (最大)
コントラスト比	10000:1 標準 (フルオン / フルオフ)
均質性	80% 標準 (日本規格 - JBMA 日本事務機械工業会)
画素数	1280 x 800 (WXGA)
縦横比	16:10
内部フラッシュャー	1 GB メモリ (最大)
表示可能な色	10.7 億色
投影レンズ	F ストップ : F/ 2.0 f=14.95 mm 固定レンズ 投影比 = 1.5 ワイドおよび望遠 オフセット比 : 100%
投影画面サイズ	30~80 インチ (対角)
投影距離	3.18~8.48 フィート (97 ~ 258 cm)
ビデオ互換性	HDMI 入力 : 1080p、720p、576i/p、480i/p
電力供給	ユニバーサル AC 100-240 V 50-60 Hz、65 W 電源アダプタ付き
消費電力	通常モード : 52 W ± 10% @ 110 Vac エコモード : 42 W ± 10% @ 110 Vac 省電力モード : < 0.5 W (最低のファン速度) スタンバイモード : < 0.5 W
オーディオ	スピーカー 1つ、1 ワット RMS
ノイズレベル	通常モード : 36 dB(A) 標準 エコモード : 32 dB(A) 標準
質量	0.8 lbs ± 0.05 lbs (0.36 kg ± 0.02 kg)

寸法 (幅 x 高さ x 奥行) 4.14 x 1.43 x 4.09 インチ (105.3 x 36.5 x 104 mm)



環境条件

動作温度 : 5 °C - 35 °C (41 °F - 95 °F)

湿度 : 80% 最大

保管温度 : 0 °C - 60 °C (32 °F - 140 °F)

湿度 : 90% 最大

輸送温度 : -20 °C - 60 °C (-4 °F - 140 °F)

湿度 : 90% 最大

I/O コネクタ

電源 : DC 電源ジャック 1 つ

VGA 入力 : アナログ RGB 入力信号用の 24 ピンユニバーサルコネクタ (黒)、およびサポートしているオーディオ出力。

HDMI 入力 : 1 つの HDMI コネクタ (HDMI 1.3 のサポート用)。HDCP 準拠。

オーディオ出力 : 1 つの 3.5 mm ステレオミニ電話ジャック。

USB (タイプ A) ポート : USB ディスプレイをサポートする USB コネクタ (x1)、マルチメディア再生 (ビデオ / 音楽 / 写真 / オフィスビューア)、USB メモリストレージアクセス (USB フラッシュドライブ / 内部メモリ) およびプロジェクタ、メディア、画像プロセッサファームウェアアップグレードのサポート、オプションのワイヤレスドングル、MobiShow-Pro、WiFi-Doc のサポート。

USB サムドライブは、最大 32 GB をサポートします。

	<p>マイクロ SD カードスロット：マルチメディア再生 (Video/ 音楽 /Photo/ オフィスビューア) をサポートし、およびメディアと画像プロセッサファームウェアアップグレードをサポートするマイクロ SD コネクタ (x1)</p> <p>マイクロ SD カードは、最大 32 GB をサポートします。</p>
ワイヤレスドングル (オプション)	<p>ワイヤレス標準：IEEE 802.11b/g/n</p> <p>ワイヤレス：ワイヤレスドングル (USB インターフェイス、オプション) と mobishow をサポートするための 1 つの USB (タイプ A) コネクタ。</p> <p>OS 環境：Windows 8/7/Vista/XP/2000、MAC OS X</p> <p>MobiShow および WiFi-Doc 投影をサポートしません。</p>
光源	<p>水銀フリーの LED (ノーマルモードで最大 30000 時間)</p>



メモ： プロジェクタの LED 寿命定格は明るさの低下のみを測定し、LED が故障し光の出力をやめるまでの時間を計る仕様ではありません。LED の寿命は 50 パーセント以上の LED サンプル群が、指定された LED に対して約 50 パーセントの定格ルーメンの明るさが減少するまでの時間として定義されます。LED の寿命定格は、いかなる方法でも保証されません。プロジェクタ LED の実際の動作寿命は操作条件と使用パターンにより異なります。埃っぽい環境、高温下および突然の電源遮断を含むストレスの多い条件で、長時間プロジェクタを使用すると、LED の動作寿命が短くなったり、LED が故障する原因となります。

互換モード (デジタル)

解像度	リフレッシュ レート (Hz)	水平周波数 (KHz)	ピクセルクロック (MHz)
640 x 350	70.087	31.469	25.175
640 x 480	59.940	31.469	25.175
720 x 480 p60	59.940	31.469	27.000
720 x 576 p50	50.000	31.250	27.000
720 x 400	70.087	31.469	28.322
640 x 480	75.000	37.500	31.500
640 x 480	85.008	43.269	36.000
800 x 600	60.317	37.879	40.000
800 x 600	75.000	46.875	49.500
800 x 600	85.061	53.674	56.250
1024 x 768	60.004	48.363	65.000
1280 x 720 p50	50.000	37.500	74.250
1280 x 720 p60	60.000	45.000	74.250
1920 x 1080 i50	50.000	28.125	74.250
1920 x 1080 i60	60.000	33.750	74.250
1280 x 720	59.855	44.772	74.500
1024 x 768	75.029	60.023	78.750
1280 x 800	59.810	49.702	83.500
1366 x 768	59.790	47.712	85.500
1360 x 768	60.015	47.712	85.500
1024 x 768	84.997	68.677	94.500
1440 x 900	59.887	55.935	106.500
1280 x 1024	60.020	63.981	108.000
1400 x 1050	59.978	65.317	121.750
1280 x 800	84.880	71.554	122.500
1280 x 1024	75.025	79.976	135.000
1440 x 900	74.984	70.635	136.750
1680 x 1050	59.954	65.290	146.250
1280 x 960	85.002	85.938	148.500
1920 x 1080	60.000	67.500	148.500

6

Dell へのお問い合わせ

米国内のお客様は 800-WWW-DELL (800-999-3355) までご連絡ください。



メモ：インターネット接続がない場合は、発注書、梱包明細書、請求書、または Dell 製品カタログにある連絡先情報をご覧ください。

Dell™ では、さまざまなオンラインおよび電話サポートとサービスを提供しております。ご利用については、お住まいの国および製品によって異なります。また、お住まいの地域でご利用いただけないサービスもございます。販売、技術サポート、お客様サービスに関する Dell へのお問い合わせ：

- 1 www.dell.com/contactDell を参照してください。
- 2 インタラクティブマップで地域を選択します。
- 3 連絡先のセグメントを選択します。
- 4 必要なサービスまたはサポートリンクを選択します。

7

付録：用語集

ANSI ルーメン — 明るさの単位です。1 平方メートルの画像を、9 つの同じ長方形に分割し、各長方形の中心のルクス（または明るさ）を測定して、9 つの点の平均値を求めて算出します。

縦横比 — 最も一般的な縦横比は 4:3（4 × 3）です。旧式のテレビやコンピュータビデオの形式は 4:3 縦横比です。つまり、画像の幅は画像の高さの 4/3 倍になります。

明るさ — ディスプレイや投影ディスプレイ、または投影デバイスから発する光の量です。プロジェクタの明るさは ANSI ルーメンで表されます。

色温度 — 白光の色を表します。色温度が低いほど暖色（黄色または赤みが強い）であることを意味し、色温度が高いほど寒色（青みが強い）を意味します。色温度の標準単位はケルビン（K）です。

圧縮解像度 — 入力画像の解像度がプロジェクタのネイティブ解像度よりも高い場合に、画像をプロジェクタのネイティブ解像度に合わせて圧縮します。デジタルデバイスで圧縮すると画像コンテンツの一部が失われます。

コントラスト比 — 画像の中の明るい部分と暗い位部分の範囲、または最大および最小値の間の比率を指します。プロジェクタ業界では 2 つのコントラスト比の測定方法が使われています。

1 フルオン/ オフ完全に白い画像（フルオン）の光出力と完全に黒い画像（フルオフ）の光出力の比率を測定します。

2 ANSI — 16 の交互に並んだ黒と白の長方形のパターンを測定します。白い長方形からの光出力の平均を、黒い長方形からの光出力の平均で割り、ANSI コントラスト比を算出します。

同じプロジェクタでは、フルオン/ オフコントラストは ANSI コントラストよりも大きい値になります。

dB — デジベル — 通常は聴覚または電子信号の間で電力と強度の相対差異を表す単位で、2 レベルの比率の常用対数の 10 倍に相当します。

対角画面 — 画面サイズまたは投影画像のサイズを測定する方法です。1 つの角から対角線上の角までを測定します。9 フィート高、12 フィート幅のスクリーンの対角は 15 フィートです。この文書では、上の例のように、対角寸法はコンピュータ画像の従来の 4:3 の比率用とみなします。

DLP® — Digital Light Processing™ (デジタル光処理) — Texas Instruments 社が開発した反射型ディスプレイ技術、小型操作ミラーを使用。光がカラーフィルターを通して DLP ミラーへ伝送されます。DLP ミラーが RGB 色を画面に投影される画像に配色します。DMD とも呼ばれます。

DMD — digital Micro- Mirror Device — 各 DMD には数千の傾斜角、微小なアルミ合金ミラーが隠れたヨークに搭載されています。

焦点距離 — レンズの表面からその焦点までの距離。

周波数 — 電気信号の 1 秒当たりの周期の繰返し速度です。単位は Hz (ヘルツ) です。

HDCP — 広帯域デジタルコンテンツ保護 — DVI や HDMI などのデジタルインターフェイスを使いデジタルエンタテインメントを保護するために、Intel™ が開発した仕様です。

HDMI — High Definition Multimedia Interface (ハイデフィニション・マルチメディア・インターフェース) — HDMI は、デジタルオーディオ付きの未圧縮の高解像度ビデオとデバイスコントロールデータを 1 つのコネクタで伝送します。

Hz (ヘルツ) — 周波数の単位。

キーストーン補正 — プロジェクタと画面の角度が不適切なために起こる投影画像の歪み (通常、上部が広く下部が細くなる現象) を修正するデバイスです。

最大距離 — プロジェクタが、完全に暗い部屋で使用可能な (十分に明るい) 画像を投影できる画面からの距離。

最大画像サイズ — 暗い部屋でプロジェクタが投影できる最大画像サイズ。通常、光学部品の焦点範囲によって制限されます。

最小距離 — プロジェクタが画面上で画像の焦点を合わせることのできる最小距離。

NTSC — National Television Standards Committee (全米テレビ放送規格委員会)。ビデオおよび放送用の北米規格、525 ライン・30 フレーム毎秒のビデオ形式。

PAL — Phase Alternating Line (走査線位相反転)。ビデオおよび放送用の欧州放送規格。625 ライン・25 フレーム毎秒のビデオ形式。

画像の反転 — 画像を水平に反転する機能です。通常の前向き投射で使用すると、文字や画像などは後ろ向きになります。画像の反転は背面投射で使います。

SVGA — Super Video Graphics Array (スーパービデオグラフィックスアレイ) — 800 x 600 ピクセル。

SXGA — Super Extended Graphics Array (スーパー拡張グラフィックスアレイ) — 1280 x 1024 ピクセル。

UXGA — Ultra Extended Graphics Array (超拡張グラフィックスアレイ) — 1600 x 1200 ピクセルカウント。

VGA — Video Graphics Array — 640 x 480 ピクセルカウント。

XGA — Extended Video Graphics Array (拡張ビデオグラフィックスアレイ) — 1024 x 768 ピクセル。

WXGA — Wide Extended Graphics Array (ワイド拡張グラフィックスアレイ) — 1280 x 800 ピクセル。

ズームレンズ — 可変式焦点距離のレンズで、画像を縮小したり拡大して表示できます。

ズームレンズ比 — レンズが固定距離から投影できる最小画像と最大画像の比率です。例えば、1.4:1 ズームレンズ比とは、ズームなしの 10 フィート画像が、フルズームでは 14 フィートになることを意味します。

索引

D

- Dell への
お問い合わせ 60, 61
- Dell へのお問い合わせ 4, 54

さ

- サポート
Dell へのお問い合わせ 60,
61

し

- 仕様
 - I/O コネクタ 57
 - 明るさ 56
 - オーディオ 56
 - 画素数 56
 - 環境条件 57
 - 均質性 56
 - コントラスト比 56
 - 質量 56
 - 縦横比 56
 - 消費電力 56
 - 寸法 57
 - 電力供給 56
 - 投影画面サイズ 56
 - 投影距離 56
 - 投影レンズ 56
 - 内部フラッシュ 56
 - ノイズレベル 56
 - ビデオ互換性 56
 - 表示可能な色 56
 - ライトバルブ 56
- 省電力 38

せ

- 接続ポート
 - DC 入力コネクタ 7
 - HDMI コネクタ 7
 - オーディオ出力コネクタ 7
 - セキュリティケーブルス
ロット 7

て

- 電話番号 60

と

- 投影画像の調整 16
 - プロジェクタの高さ調整 16
- トラブルシューティング 52
 - Dell へのお問い合わせ 52

は

- パワー設定 38, 39
- パワーセーブ 38

ふ

- プロジェクタの接続
 - AC アダプタ 8, 9, 12, 13, 14
 - HDMI ケーブル 12
 - HDMI ケーブルでの接続 12
 - USB-A - USB-A ケーブル 9
 - ユニバーサル 24 ピン VGA
ケーブル 8
 - コンピュータへ 8
 - 電源コード 8, 9, 12, 13, 14
- プロジェクタの電源を入れる/切

る

- プロジェクタの電源を入れる 15
- プロジェクタの電源を切る 15

ほ

- 本体 5
 - エレベータボタン(高さ調整用) 5
 - コントロールパネル 5
 - フォーカスリング 5
 - レンズ 5

め

- メニューの透明度 35